

ゆらぐ御家人と幕府の終わり

学習日 月 日

点

1 次の資料を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(資料) 1297年に出示された法令の一部

領地を質に入れたり売り買いしたりすることは、御家人の生活が苦しくなるもとであるから、今後は禁止する。御家人以外の者が御家人から買い取った土地は、売買から何年たっていても返さなければならない。

① 元との戦いのあと、御家人が幕府に不満をいだくようになった理由を、「恩賞」「土地」の語を使って書きなさい。

()

② 御家人の生活が苦しくなった原因として正しいものを、次から1つ選びなさい。

ア 領地を分けて受けつぐことがくり返されたから
イ 米の値段が下がったから
ウ 商人に貸した金が返らなかったから

()

③ 資料の法令を何というか。

()

④ ③が出された目的を、「御家人」の語を使って書きなさい。

()

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

14世紀に入ると、幕府や荘園領主に従わず、年貢をうばう武士が各地にあらわれた。政治の実権を朝廷に取りもどそうと考えた天皇は、こうした武士や有力な御家人を味方につけて兵を挙げ、幕府はほろびた。

① 幕府や荘園領主に従わなかった武士を何というか。

()

② 兵を挙げた天皇と、それに味方した①の代表的な武將を、それぞれ答えなさい。

天皇 () 武將 ()

③ 京都の六波羅探題を攻めた御家人と、鎌倉を攻めた御家人を、それぞれ答えなさい。

六波羅探題 () 鎌倉 ()

④ 鎌倉幕府がほろびた年を答えなさい。

()

⑤ 次のできごとを、年代の古い順に並べかえなさい。

ア 弘安の役 イ 文永の役 ウ 鎌倉幕府がほろびる エ 石の防壁が築かれる

(→ → →)

解答

1

- ① 幕府が恩賞として土地を与えることができなかったから。
- ② ア
- ③ 徳政令（永仁の徳政令）
- ④ 生活が苦しくなった御家人を救うために出された。

2

- ① 悪党
- ② 天皇 後醍醐天皇 武将 楠木正成
- ③ 六波羅探題 足利尊氏 鎌倉 新田義貞
- ④ 1333年
- ⑤ イ→エ→ア→ウ